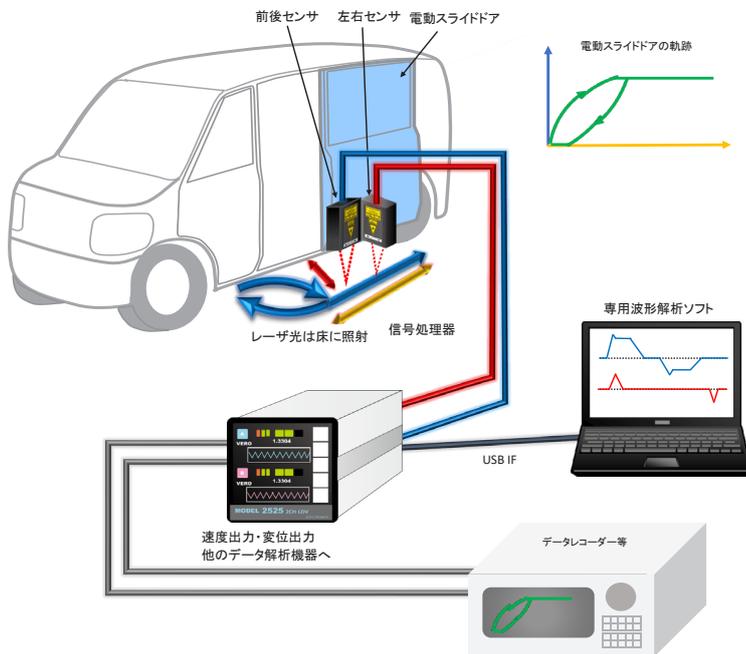


1 スライドドアの速度測定



MODEL2541 【カタログ P37】

MODEL2525 【カタログ P41】

自動車用電動スライドドアの移動軌跡測定を示します。センサはスライドする前後方向と、開閉時にリリースロックする横方向、それぞれの移動方向に対して取り付けます。

レーザーの照射は床に対して行います。

2台のセンサで同時測定することによって、スライドドアの正確な移動軌跡測定が可能です。

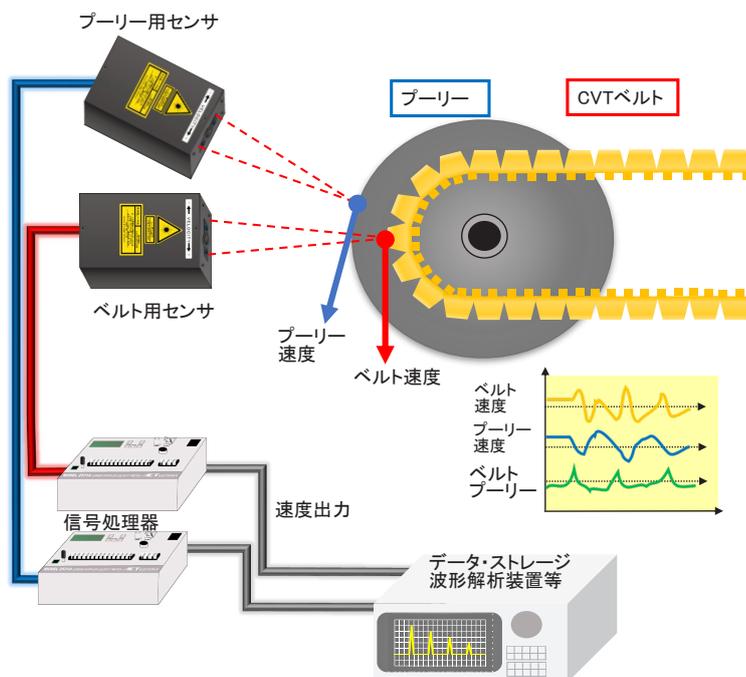
レーザドップラ方式は、光学的手法による速度測定です。

この方法は、被測定物に直接接触することがないため、ロータリエンコーダのように取付け用のカプリングや軸合わせも不要です。

また、弊社のセンサは光学的手法で懸念される、表面の色や表面状態が測定値に影響することはありません。

このような光学的測定は駆動機構の負荷にならず、こういった移動速度や移動距離を正確に抽出したい用途には最適です。

2 CVT ベルトの速度測定



MODEL2531A 【カタログ P42】

本装置は長被写界深度のセンサを使用する事で、バイク用 CVT ベルト（ダブルコグベルト）のような凹凸の多い物体の速度が測定可能となりました。

このアプリケーションでは、ベルトとプーリーとの速度差を算出することにより、特に負荷が大きくなった場合のベルトの伸び縮みのような過度現象を抽出可能です。

またこの装置は、停止、逆転から最高速度まで、どのような回転状況においても正確に波形観測が行えます。

ロータリエンコーダのような従来の方では不可能であった、精密な過度現象の把握が非接触速度計によって可能となりました。セッティングも極めて簡単です。